

第6学年 社会科学習指導案 (2/12)

授業者 仙台市立長命ヶ丘小学校

教諭 芳賀 航

1 小単元名 世界の未来と日本の役割

2 小単元の目標

地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題、それらの解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにする。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて、地図帳やインタビュー、など各種の資料で調べて、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。 調べたことを図や文などにまとめ、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。	地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見出し、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え表現している。 地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子を関連付けて、国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、学習したことを基に今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたりそのために自分ができることを選択・判断したりして、適切に表現している。	国際社会において我が国が果たしている役割について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割やそのために自分ができることを考えようとしている。

4 小単元について

- ここでは、平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き及び我が国の国際協力の様子を調べ、我が国が国際連合の一員として重要な役割を果たしていることや諸外国の発展のために支援や協力を行っていることを理解するとともに、平和を願う日本人としての自覚を養うことを目標としている。

本単元では、経済的に貧しく、日本が国際協力している国として「キリバス共和国」(以下キリバス)を教材として扱う。キリバスは、南太平洋に位置する海洋国家であり、33の島からなる。経済水域は世界第3位をほこり、経済は漁業がほとんどである。日本との関係は、古くは明治時代の南洋貿易が挙げられる。また、首都タラワは太平洋戦争の激戦地になり、日本が占領していたことがあった。さらに、同国には、日本のカツオ一本釣り漁の漁業学校があり、日本の遠洋漁業のクルーとしてキリバス人が日本漁船で働いている。そして、仙台出身のキリバス人(ケンタロ・オノ氏)が元名誉領事として現在も多くの舞台で活躍しているなど、多くの面で日本とのつながりがある。一方、同国の抱える課題として、国内総生産(GDP)は、世界192か国中190位と途上国の中でも最貧国の一つであり、経済的に非常に困窮していることが挙げられる。また、国の海拔は約2m程度しかなく、地球温暖化の影響から、海面上昇により国土の大部分が消失する恐れがある。国土が狭く、海水が浸水してしまっている土壌では作物を育てることもできず、地下水に海水が流入してしまうことから、飲料水の確保も難しく他国からの支援を必要としている国である。

本小単元では、日本がキリバスに行った国際協力として、政府開発支援(ODA)の活動で建設した「ニッポンコーズウェイ」を取り上げる。これは、キリバスのインフラ整備をするために作られた埋め立て道路(以下道路)であり、同国に1つしかない国際港がある島と行政機関や多くの国民が住む島を結ぶ唯一の陸路である。当時は、速い潮の流れ等によって様々な国が道路の建築を断念してきたが、1987年、日本は約12億円の無償資金協力をを行い、日本の技術力を生かしてこの道路を完成させた。また、2016年には風化してきた同道路の改修工事を行うなどの支援をしている。

こうしたキリバスに対する日本の国際協力の事例を取り上げることは、児童が日本と他国とのつながりに気付き、地球規模で起こる問題を自分事として捉え、その解決に向けた国際協力の必要性について考えていくきっかけとなる。また、「国際協力」を捉えるための切り口として、日本との関係が一般的に認知されていないが、実際は多くのつながりを見出せるキリバスを扱うことは、児童の驚きを喚起し、追究意欲をもたせられる点からも、大変価値のあることだと考える。

- 本小単元の指導にあたって、キリバスと日本のつながりを徐々に見出していくことで、興味関心を高めながら、キリバスを切り口に世界との関わりについて視野を広げて学べるよう単元を構成する。
- つかむ段階の第1時では、まず、前単元の学習と関連させながら、日本と関わりがある国としてキリバスを紹介する。キリバスの人口や領土などの基本的な情報を示した後、世界で最初に日の出が見られる国であることや、キリバスの人の暮らし・文化について知らせる。その際、日本との共通点や相違点に着目させ、認知度は低くても、実は日本とつながりが深い国であることにも気付かせるようにする。次に、キリバスが最貧国であり経済的に貧しい国であることや地理的要因から交通に支障があり、国民生活に多くの課題が生じていることを押さえる。その後、キリバスのために日本政府が、多額の支援を行い、同国に1つしかない道路を建設した事実を伝え、「なぜ、日本はキリバスのために道路を作ったのか」という問いを引き出し、国際協力の目的について考えるきっかけとする。最後に、日本のODAの金額の内訳から、キリバスへの支援は日本が世界に行っている支援の一部でしかないことに気付かせ、金額の大きさや他の使い道などについて関心をもたせる。第2時では、紛争や貧困、災害、環境など、現在地球規模で発生している様々な問題を提示し、視野を世界へと広げたいうで、日本と世界との関係に着目させ、学習問題「地球規模の問題を解決するために、日本は世界の国々どどのように関わっているのだろうか。」を設定する。そして、この学習問題について児童が予想するであろう様々な活動（募金をしている・多くの技術者を送っているなど）について「それは、誰（どこの機関）が行っているのか」と投げ掛け、「国連」「日本の政府」「民間企業や団体」に分類し、学習計画を立てる。
- 調べる段階では、上記の予想に基づき、調査させていく。第3時では、ユニセフやユネスコなど児童にとって身近な国連機関から調べさせ、日本も戦後の復興のために多額の支援を受けていたことに気付かせる。さらに、日本は唯一の被爆国として、核の根絶を訴えていることを捉えさせる。第4時では、地球温暖化の影響としてキリバスが国土消失の危機に瀕している事実を伝え、世界の協力が必要であることに気付かせた上で、地球サミットやSDGsについて調べさせ、持続可能な社会の実現のために、日本を始め世界の国々が協力して環境保全に努めていることを理解させる。また、これまでの社会科の学習で主にかす段階で考えてきた内容（ごみの処理・節水の工夫、食料生産、公害対策、森林の保護など現代社会の課題と自分がきること）が、全てSDGsにつながっていたことを意識づけられるようにする。第5時では、キリバスで行われているマングローブの植林活動を紹介し、ODAのJICAとともに、NGOの活動を調べさせ、発展途上国に対して援助や協力することで、その国の自立を促していることを捉えさせていく。
- まとめる段階の第6時では、地球規模の問題の解決に向けて国連、ODA、NGOの立場からそれぞれの活動を振り返り、それぞれの協力関係について図を利用しながら整理していく活動を通して、日本と世界との関わりを文章で表現できるようにする。その後、国際社会における日本の役割について話し合わせることで、日本が世界の平和の実現に向けて重要な役割を果たしていることを理解させる。また、つかむ段階で生じた問い「なぜ、キリバスのために道路をつくったのか」について「なぜ、日本は国際協力しているのか」と視野を広げて再び児童に投げ掛ける。問いについて再考させ、考えを比較させることで、深い学びを自覚できるようにする。
- いかす段階の第7時では、再び、キリバスの海面上昇問題を取り上げ、日本とキリバスの二酸化炭素量排出量の差や日本の食品ロスの現状を提示することで、自分たちの現在の生活に課題意識や当事者意識をもたせたい。そして、学習したことを基に、将来の日本はどのような国を目指すべきかを話し合わせたり、その実現に向けて、国民として自分にできること（10年後の自分にできること）を選択・判断させたりすることで、国際社会において日本の果たすべき役割や義務、責任について多角的に考えられるようにするとともに、我が国の将来を担い、平和で明るい未来を願う国民としての自覚を養っていききたい。また、学習の最後に、キリバス人として、世界に訴えかけているケンタロ・オノ氏のメッセージを聞かせることで、その思いや願いに触れさせ、世界の人々と共にこれからも地球で生きることの大切さに気付かせるとともに、自ら行動しようとする態度を養っていききたい。

5 小単元構造図（視点との関わり）

単元名「世界の未来と日本の役割」

目標 地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題，それらの解決に向けた連携・協力などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで，国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え，国際社会において我が国が果たしている役割を考え，表現することを通して，我が国は，平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり，諸外国の発展のために支援や協力を行ったりしていることを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

	【問いの構成】	【言語活動】	【重要語句】
つかむ	「問題を発見する」ための問い ①キリバスと日本のつながりを見付けよう。 なぜ，キリバスのために日本は道路を作ったの？ ②	学戦後の変化に着目させ，戦後の復興に関心をもたせるための話し合い。	国際協力 ODA 発展途上国 (復興支援)
	学習問題 地球規模の問題を解決するために，日本は世界の国々とどのように関わっているのだろうか。		
予想	ユニセフなど募金をしている。 技術者を派遣している。など	誰が 国連→③④ 日本政府→⑤ その他の民間企業・団体など→⑤	国際紛争 難民
調べる	「調べて，知る」ための問い ③国際連合の中で，日本はどのようなことをしているのだろうか。 ④地球の環境を守るために，国連や日本はどのような取組をしているのだろうか。 ⑤日本の政府や企業は，世界の課題を解決するためにどのような活動をしているのだろうか。	学予想をし，学習計画を立て，見通しをもつための話し合い。	(国際連合) ユニセフ ユネスコ 地球温暖化 地球サミット SDG s (持続可能な社会) 青年海外協力隊 ODA (JICA) NGO
	「考えて，分かる」ための問い ⑥日本と世界の関わりをまとめ，日本の役割を考えよう。 なぜ，日本は国際協力をしているのか？	学調べてきたことを関係付けたり，総合したりして日本の役割を考えさせるための話し合い。	
いかす	「社会につながる」問い ⑦世界の平和と発展に向けて，私たちができることは何か。	学世界の平和と発展に向けて目指すべき日本の姿や自分にできることを見付けるための話し合い。	食品ロス 二酸化炭素排出量 (憲法前文) (平和主義)

小単元の終末段階で目指す子供の姿

「日本は，地球規模の問題を解決するために，国際連合の加盟国として，世界の国々と協力して支援を行ったり，SDG sの目標に向けて努力したりしている。また，ODAやNGOの活動を盛んに行ったりして，世界の発展や平和の維持，環境の保全に貢献している。今後の日本を考えたことで，現状の課題を解決しながら，世界の人々と協力し，発展していくことが大切だと思った。わたしたち一人一人が世界のことに興味をもって，責任ある行動をとり，世界の人々と協力し合い平和で明るい未来を築いていきたい。」

6 小単元の指導計画（7時間扱い）

（下線以外は教科書や資料集より）

段階	時間	学習課題 ○学習活動 ・子どもの反応	※留意点・評価	資料
つかむ	1 (本時)	<p>○クリスマス島の塩を提示して、興味をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳でキリバスを見付ける <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キリバスと日本のつながりを見付けよう。</div> <p>○写真を基にキリバスについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島国である・国土・食や住居 ・経済的特徴・課題や願い（輸送コスト） <p>○日本が道路を建設した事実を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12億円かかった。全て税金なのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なぜ日本は、キリバスのために道路を作ったのだろうか。</div> <p>○建設した理由を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カツオ漁船でキリバス人が活躍していた。 ・戦後の日本も世界から支援を受けていた。 <p>○ODAの額を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多額の支援をしていた。 ・道路は、ほんの一部。 <p>○本時の学習での振り返りを書く。</p>	<p>※日本との共通点や相違点に気付かせる。</p> <p>※人々の笑顔に着目させるようにする。</p> <p>※地理的要因から、課題に気付かせる。</p> <p>※費用がかかるのにもかかわらず、どうして道路を作ったのかという問いを引き出す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>知識・技能</p> <p>キリバスと日本のつながりについて理解するとともに、日本の国際協力に着目して、世界との関わりに関心をもつことができる。</p> <p>【発言・観察・ノート】</p> </div>	<p>クリスマス島の塩（実物）</p> <p>地図帳</p> <p>地形</p> <p>暮らし</p> <p>道路など（スライド）</p> <p>漁業学校と日本のカツオ漁</p> <p>終戦後の支援</p> <p>ODAの額</p>
	2	<p>○世界規模の問題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争、貧困、環境、災害、難民、人権 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>世界規模の問題を解決するために、日本は世界の国々とどのように関わっているのだろうか。</p> </div> <p>○予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの募金活動をしている。 ・技術者や医者を世界に派遣している。 →国連、日本の政府、企業、ボランティアなど <p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連との関わりや日本の活動について調べよう。 ・日本の政府や企業の取組が知りたい。 	<p>※世界の紛争の場所を地図で確認させる。</p> <p>○活動を行う組織で分類する</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>態度</p> <p>問いを見出し、学習問題について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか。</p> <p>【発言・話し合い・ノート】</p> </div>	<p>銃を持つ子供</p> <p>泡だらけの川の川</p> <p>地震被害</p>
調べる	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国際連合の中で、日本はどのようなことをしているのだろうか。</div> <p>○国際連合の特色や日本の関わりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合憲章の要旨 ・日本の分担金額（世界3位）。 <p>○ユニセフやユネスコ等の活動について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフが戦後の日本を大きく支えていた。 ・一人一人の募金で子供たちの命を救える。 ・ユネスコの活動として世界遺産を守っている。 ・平和維持活動に参加し、非核化を訴えている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">国際連合では多くの国々が協力して平和と安全のために活動しており、日本は、国際連合の一員として様々な活躍をしている。</div>	<p>※国連の組織の中で、児童にとって身近なユニセフとユネスコについて調べさせる。</p> <p>※平和の維持と非核三原則と関連付けを図る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>知識・技能</p> <p>必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや我が国の国際連合の一員としての活動について理解しているか</p> <p>【発言・ノート】</p> </div>	<p>国際連合憲章</p> <p>国連の国別分担金の割合</p> <p>ユニセフ百円でできること</p> <p>日本が受けた支援</p> <p>PKOに参加する自衛隊</p>

	<p>○キリバスの国土が今後水没する危険があること知る。 ・地球温暖化を始め世界が危機に瀕している。 (6年理科, 生き物と環境の単元と関連)</p> <p>地球の環境を守るために, 国連や日本はどのような取組をしているのだろうか。</p> <p>○地球サミットや持続可能な開発サミットについて調べる。 ・12歳の少女の訴えに世界が耳を傾けた。 ・持続可能な社会については, 以前も学習したね。</p> <p>○SDGsについて調べる。</p> <p>○SDGsとこれまでの勉強と結び付ける。 ・ごみの削減・紙ストローの導入・レジ袋有料化 ・節水・水産資源の乱獲・森林の減少など</p> <p>持続可能な社会を実現するために, SDGsを設定し, 世界の人々が共に目標に向かって努力し, 日本も義務を果たしている。</p>	<p>※キリバスの地理的条件と地球温暖化によって起こる海面上昇による問題に関連付ける。</p> <p>※持続可能な社会の意味を確認させる。</p> <p>※4年水・ごみ及び, 5年の水産業や工業, 農業, 森林, 環境の学習, およびとSDGsのつながりを見付けさせる。</p> <p>知識・技能 必要な情報を集め, 読み取り, 国際連合の目標や国際連合の一員として我が国の果たすべき役割などを理解しているか。【発言・ノート】</p>	<p>キリバスの海面上昇の様子 地球温暖化のパンフレット 地球サミットのスピーチ (動画) SDGsのバッジ (実物) SDGsのパンフレット</p>
	<p>○コスモプロジェクト(マングローブの植林)を知る。</p> <p>日本の政府や企業は, 世界の課題を解決するためにどのような活動をしているのだろうか。</p> <p>○ODA(青年海外協力隊)の活動を調べる ・予算化されている。 ・医療や, 教育, 農業で活躍している。</p> <p>○NGOの活動について調べる。 ・緊急の支援を行っている。 ・難民のために地雷の撤去や水衛生を整えている。 ・私たちの募金で多くの活動が支えられている。</p> <p>○なぜ, 現地の人と協力する必要があるかを考える。 ・途上国の自立を促している。</p> <p>日本政府や企業や多くの団体などが協力して, 様々な支援を行い, 途上国の自立を促す活動をしている。</p>	<p>※導入でキリバスでの植林活動を活用する。</p> <p>※ODAは資料集NGOはタブレットを活用して調べさせ, NGOについては, 募金で活動支えられていることに気付かせる。</p> <p>知識・技能 必要な情報を集め, 日本の国際協力の様子について調べ, 諸外国の発展のために援助や協力を行っていることを理解しているか。【発言・ノート】</p>	<p>植林活動の様子 <u>ODAの活動</u> <u>NGOの活動</u> AARのHP</p>
<p>まとめる</p>	<p>日本と世界の関わりをまとめ, 日本の役割を考えよう。</p> <p>○世界規模の問題を確認する。</p> <p>○国連の働き, ODNやNGOなどの活動を振り返り, 連携や協力の様子を図にまとめる。</p> <p>○日本の果たしている役割を考える。</p> <p>○なぜ日本が国際協力をしているのか再考し話し合う。</p> <p>日本は, 地球規模の問題を解決するために, 国際連合の加盟国として, 世界の国々と協力して支援を行ったり, SDGsの目標に向けて努力したりしている。また, ODAやNGOの活動を盛んに行ったりして, 世界の発展や平和の維持, 環境の保全に貢献し, 先進国としての義務を果たしている。</p>	<p>※学習問題についてまとめた後, 日本が果たしている役割を考えるとともに, 第1時の問いに立ち返らせる。</p> <p>思考・判断・表現 地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子に関連付けて, 国際社会において我が国が果たしている役割を考えているか。【発言・話し合い・ノート】</p>	<p>これまでの資料</p>

<p>いかす</p>	<p>7</p>	<p>○日本の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の二酸化炭素排出量はキリバスの約20倍だ。 ・日本は非常に多くの食べ物を無駄にしている。 ・私たちの行動が世界の環境を悪化させていたのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>世界の平和と発展に向けて、わたしたちができることは何か。</p> </div> <p>○これから、日本はどんな国なってほしいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスを無くし二酸化炭素の排出量を減らしてほしい。 ・SDG sの目標を達成し持続可能な開発を行う国になってほしい。 ・日本の技術力を発揮し、世界をリードしてほしい。 ・先進国としての義務と責任を果たしてほしい。 ・たくさんの国々と交流し、多くの文化を知ってほしい。(前单元から) ・被爆国として、さらに世界の平和を訴えてほしい。 ・憲法前文にあるように世界の人々は平等で安全に生きる権利があるから、その実現に向けて世界と協力する国であってほしい。 <p>○そのために、10年後の一人の国民として自分にできることは何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDG sの達成に向けて少しでも貢献したい。 ・青年海外協力隊に入って貢献したい。 ・世界の課題に目を向けて、世界のことを考えて行動できる国民でありたい。 <p>○ケンタロ・オノ氏のメッセージを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界は海でつながっている。 ・グローバルに考え、ローカルに活動する。 ・愛情の反対は、無関心。 ・一人一人の行動や協力が世界を変える。など <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本には、まだまだ解決しなければならない課題があり、先進国としての責務を果たし、SDG sの達成に向けて世界の平和に貢献する国であってほしい。そのために、私たち国民が世界の現状をもっとよく知り、一人一人の行動を変えていく必要があることが分かった。これから自分にできることをさらに見付け、この地球を守り、平和で明るい未来を築くために、世界の人々と共に協力して行動できる国民でありたい。 	<p>※日本は世界のために貢献しているが、依然として、大きな課題が残っていることに問題意識と当事者意識をもたせ、先進国としての責任があることに気付かせる。</p> <p>※これまでの学習はもちろん、歴史学習とも関連付けて、今後の日本の目指すべき姿について話し合わせる。</p> <p>※21世紀を担い、平和で明るい未来に向けて自分ができることを選択・判断させる。その際あえて、大人の立場で考えさせることで、国民としての自覚をもたせられるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>態度</p> <p>学習したことを基に今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたりそのために自分ができることを選択・判断したりして、適切に表現している。【発言・話し合い・ノート】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>思考・判断・表現</p> <p>学習したことを基に今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたりそのために自分ができることを選択・判断したりして、適切に表現している。【発言・話し合い・ノート】</p> </div>	<p>二酸化炭素排出量 日本とキリバスの比較 食品ロスを訴える CM</p>
------------	----------	--	--	--

7 本時の指導 (1/7)

(1) 本時のポイント

本時では、小単元の導入において、児童にとって認知されていないキリバスを扱うことで、キリバスを切り口に世界の国とのつながりを感じさせ、国際協力における日本と世界との関わりに関心をもたせることをねらいとしている。具体的には、キリバスの塩からキリバスについて興味をもたせた上で、キリバスが抱える地理的条件から起こる課題を捉えさせる。そして、日本が無償で道路を作った事実を伝え、その理由について資料を基に調べていく活動を通して、国際協力の目的を考えさせる。最後に、ODAの金額を示すことで、日本が世界に行っている国際協力の中の一部でしかないことに気付かせ、日本の国際協力について関心をもたせる。また、その金額の大きさや他の使い道についての疑問から、世界との関わりについて問いを引き出し、次時で行う単元を通じた学習問題の設定へとつなげていきたい。

(2) ねらい

キリバスと日本のつながりについて理解するとともに、日本の国際協力に着目して、世界との関わりに関心をもつことができる。【知識・技能】

(3) 学習過程

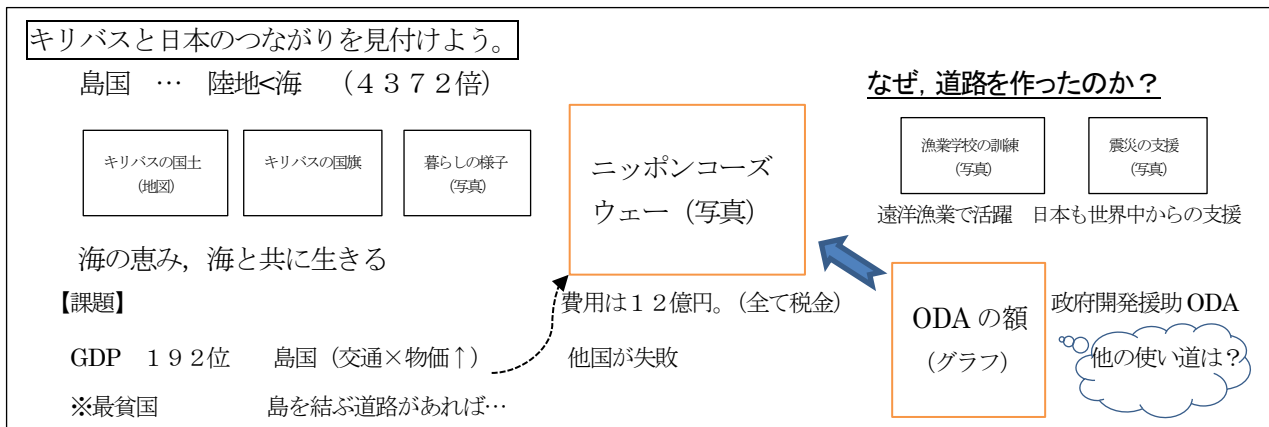
時間	学習活動	学習形態	○発問 ●指示 ・児童の反応	※留意点 資料 □評価
5分	○キリバスについて興味をもつ。 ○本時の課題を把握する。	全	○クリスマス島の塩って何だろう。 ・高いけどおいしいみたい。 ・海と太陽だけで作るんだ。 ・この島は、キリバスという国だ。 ●地図帳で見付けてみよう。 ・たくさんの島があるよ。 ・どんな国なのかな。 ・日本とつながりはあるのかな。	クリスマス島の塩 (実物) ※塩の値段やパッケージにも着目させておく。 ※地図帳でキリバス見付けさせ、地理的条件を手がかりにどのような国なのかをイメージさせる。 ※前単元を想起させ、日本との違いやつながりにも着目させる。
キリバスと日本のつながりを見付けよう。				
5分	○キリバスについて知る。	全	○キリバスについて知りましょう。 ・日本と同じ島国だけど、海の面積が陸地の4377倍もあるよ。 ・美しい海とたくさんの魚がいるみたいだね。 ・世界中で一番最初に朝日を向かえる国だ。 ・みんな笑顔で生活しているね。	※スライド資料から、キリバスについての情報を与えていく。 1 人口や国土、海の面積 国旗 2 自然 (海・島・朝日) 3 島の人々の暮らし (衣・食・住) ※海洋国家の特色を人々の暮らしとともに押さえる。その際日本人の暮らしと比較し、イメージをもたせやすくする。(沖縄や気仙沼) ※人々の笑顔に着目させ、満ち足りた心豊かな暮らしを想像させる。
5分	○キリバスと日本のつながりを知る。	全	○日本とのどのようなつながりがあるのかな。 ・旧日本軍の占領日米軍の激戦地になっていたのか。 ・元名誉領事(ケンタロ・オノ氏)が仙台出身のキリバス人だ。	4 日本軍の残骸 5 ケンタロ・オノ氏の活躍
5分	○キリバスの抱える問題に気付く。	全	○キリバスの課題について知る。 ・GDPは日本が3位なのに対してキリバスは、192位だ。 ・所得は日本の12分の1で発展途上国の中でも最貧国なんだ。 ・島国だから物価が高いんだね。	6 課題1 経済状況 ※物価が高い原因や働いている人が少ない原因を地理的条件から考えさせ、課題2に移る。

<p>7分</p> <p>○国際協力の目的について話し合う。</p>	<p>個 ↓ ペア ↓ 全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島をつなぐ道路が必要なんだ。 ・日本が作ってあげればいいのに。 ・お金が12億円もかかるとなると税金がもったいないよ。 ・だけど日本は道路を作ったんだ。 ・どうして作ったのかな。 <p>◎なぜ、日本はキリバスのために道路をつくったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリバスの人のためにできることをしたんだよ。 ・日本の技術力の高さを世界にアピールできるよ。 ・日本とキリバスには、他にも関係がありそうだよ。 	<p>7 課題2 交通状況</p> <p>※キリバスの人々の立場になって道路を作る必要性を考えさせる。</p> <p>8 ニッポンコースウェー</p> <p>※12億円が税金であることや、支援が無償であることを確認し、なぜ道路を作ったのかという問いをもたせる。</p> <p>※自分の考えを記述させた後、ペアで交流させ、全体で共有する。</p> <p>※二つの資料を配付し、国際協力する目的に迫らせる。</p>
<p>8分</p> <p>○国際協力の目的について考えるための資料を読み取る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・カツオの一本釣りの練習をしているよ。 ・漁業訓練学校を出た後は、日本の漁船に乗って活躍していたのか。 ・日本の遠洋漁業は、キリバスの人々に支えられていたんだね。 ・日本も震災のときは、世界から寄付を受けていたよね。 ・この支援があったからわたしたちは復興を果たしたんだね。 	<p>9 漁業訓練学校の様子と焼津市の漁船で働く日本人とキリバス人の割合</p> <p>※二つの資料から、日本の遠洋漁業にキリバスの人々の協力が不可欠であることを捉えさせる。</p>
<p>5分</p> <p>○日本の国際協力の総額について知り、問いをもつ。</p>	<p>全</p>	<p>●日本の国際協力の額を見てみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際協力のための予算があるのか。 ・キリバスだけではないんだね。 ・こんなにたくさんのお金がかけているのか。 ・なぜ、こんなに支援する必要あるのかな。 ・他のお金は、何に使っているのか気になる。 	<p>10 日本が受けた震災の支援</p> <p>※国際協力の目的については、全て解決するのではなく、小単位を通して考えていけるようにする。</p> <p>12 日本のODAの額(グラフ)</p> <p>※日本のODAの予算額を示し、キリバスへの支援(コースウェー計画)は、日本が行っている国際協力の一部にすぎないことに気付かせ、国際協力への関心をもたせるとともに、金額の大きさやその他の使い道について疑問を持たせる。</p>
<p>5分</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>全</p>	<p>●本時の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリバスと日本には、たくさんつながりがあったって驚いた。 ・国際協力することで、互いによさがあり、日本も過去に支援を付けていることが分かった。 ・日本はキリバスの他にどんな国を相手にどんな活動をしているのかを調べたい。 	<p>※振り返りとして、学んだことや疑問に思ったことを観点として与え、日本と世界との関わりについての問いを引き出す。</p> <p>知識・技能</p> <p>キリバスと日本のつながりについて理解するとともに、日本の国際協力に着目して、世界との関わりに関心をもつことができる。【発言・ノート】</p>

(4) 本時の評価規準

具体的評価基準 (B)	キリバスと日本のつながりについて理解するとともに、日本の国際協力に着目して、世界との関わりに関心をもっている。
A と判断する姿	キリバスと日本の関係に関心を持ち、日本の国際協力の活動に着目して、その意味を考え、世界との関わりについて問いを見出している。
C への手立て	キリバスの情報を日本と比較してイメージさせたり、キリバスや日本の立場に立たせたりする。

(5) 板書計画



文言の整理

「つながり/関わり」関わりの方が広義で、つながりはよりはっきりとしたもの、双方向のもの。

「支援/援助」支援は自立を促し一部を支えるもの、援助は全て全額助けるもの。

そう考えると日本が世界に行っていることは支援のような気がしますが、指導要領では援助が使われているようです。ですので、目標や評価は、援助を使いました。

「疑問/問い」疑問は個人レベル、問いはみんなで追究していく、より価値のあるもの。

「興味/関心」興味は気に入る気になる、関心はより調べたくなるようなもの。